

2号機も冷却停止

福島第一原発

東京電力は14日、福島第一原発2号機で原子炉の冷却機能が停止したと発表した。炉内の水位は低下傾向にあり、水素爆発を起こした1号機や3号機と同様の状態になる可能性が出てきた。東電は今後、爆発を避けるため、原子炉建屋上部の壁に穴をあけ、水素ガスを抜くことを検討する。

午後1時25分に冷却機能が喪失したと東電が判断。午後1時38分に福島県に報告した。

2号機は、炉心を冷やす水の循環が機能していたが、何らかの原因で動かなくなっていたという。循環に使っているバッテリーがいずれ切れるとみられていた。

東電福島事務所の担当者は「1、3号機のようにならないように対処したい。早めに手を打ちたい」と話した。